

Eスクエア(e²)プロジェクト



子ども用 ホームページ ガイドブック

児童・生徒用マニュアル



情報処理振興事業協会

財団法人コンピュータ教育開発センター

<http://www.edu.ipa.go.jp/E-square/>

目 次

探検をはじめる前に	1
いろいろなへやをのぞいてみよう！	2
友だちが書いたメールが読みたい！	3
送ってくれた絵や写真がみたい！	3
まなびゾーン	4
であいゾーン	5
メールを送ってみよう！	6
「であいゾーン」の中の「自己紹介」の部屋をひらこう	6
「新規メッセージ」をひらこう	6
タイトルを書こう	6
本文を書くよ	7
いよいよ送信だ	7
いろいろためしてみよう！	8
絵をおくってみよう	8
返事を出そう	8
きまった人にメールを出してみよう	9
さあ、みんなでかんがえよう！	11
自分の学校名や名前をかく	11
パソコンのむこうには人がいる	11
相手も返事をまっている	11
自分の気持ちは子どもひろばで教えてあげる	11
メールのどこの文章に返事をかいたのかな？	12
送っていいものと、送ってはいけないもの	13
タイトル〔題〕を工夫しよう	13

ようこそ！ 子どものひろばへ

Welcome to E-square!!

「子どものひろば」ってどんなところなんだろう？ 何があるんだろう？ パソコンの前に座ったきみは、もう「子どもひろば」のなかまだ。わくわく、ドキドキ!!! さあ、パソコンとにらめっこばかりしていないで、とにかく中に入って探検してみよう。

探検をはじめる前に

「子どものひろば」の探検をはじめるには、さいしょに「ログイン」という作業をしなくてはならないんだ。はじめは先生といっしょにやってみるといいね。

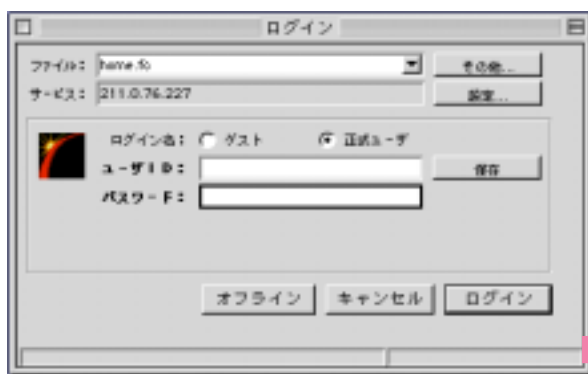


図1

これが「ログイン画面」(図1)だ。ここに、きみの(または学校の)名前とパスワード(ひみつのあんしょう番号)を入れるんだ。名前やパスワードは先生にたずねよう。名前とパスワードを入れたら「ログイン」ボタンをクリック！

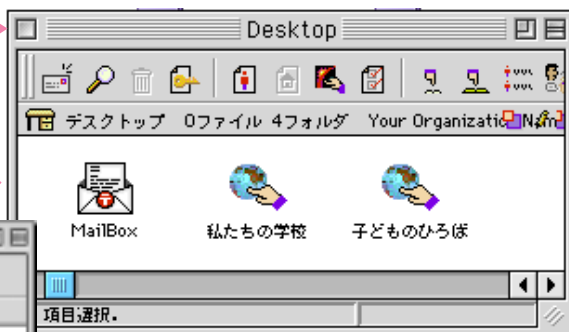


図2

・・・図2のような「子どものひろば」の入り口があらわれたかな？ つぎに「子どものひろば」というところをクリックするんだ！



こんな画面(図3)がでてきたかな？

さあ！島の探検を はじめよう！



いろいろなへやをのぞいてみよう！

「子どものひろば」には「まなびゾーン」「であいゾーン」という、2つの部屋があるんだ。(図3)

「まなびゾーン」では、「こどものひろば」にあつまった学校どうしで、決められたテーマについてきょうどう研究をしているんだ。「であいゾーン」では、楽しく友だちがしてくれる部屋がたくさんあるんだ。それぞれの部屋については、あとでせつめいするね。さあ、どんどん探検をつづけよう！

さいしょは「であいゾーン」の中を探検してみようか？

マウスをつかって「であいゾーン」のところにやじるしをもっていき、そこでクリック(マウスを押すことだったよね)してみよう！こ～んな5つの部屋(図4)が出てきたかな？



図4

どうですか？ これで、もうきみはひとりで「ログイン」してメールを読むことができるかな？

さて、「みんな聞いて！」だけでなく、ほかにたくさんの部屋があるので、ちょっとだけせつめいするね。あとは、クラスの友だちや先生といっしょに、どんなことがおこなわれているか探検してみよう。部屋のいちばん下に、その部屋でどんなことをしているのかせつめいしてくれたメールがあるので、さいしょはそこを開いて読んでみるといいね。

まなびゾーン

決められたことについて、クラスで調べたり、考えたりしたことを、他の学校の友だちに教えてあげたり、反対に聞いたりできる部屋(図9)だよ。



図9

地球大すき

森や川のこととか、自然保護や公害、リサイクルのことなど、地球のかんきょうについて、社会科でならったことや、クラスで調べたことを話し合う部屋なんだ。

町じまん

自分たちの住んでいる町のまわりで、みんなにじまんしたいことを書くんだよ。たとえば「わたしの町の川にはこんな水生こんちゅうがいるよ!」とか、なんでもじまんOKだよ。

こんな店 みつけたよ!

ここは、自分の知っているお店を紹介しあうコーナーだよ。「お母さんがきのう行ったお店はとてもサービスがよかったんだって」とか「こんなおしゃれなお店をみつけたよ」とか、いろいろなお店を紹介しあって世界をどんどん広げていこうよ。

世界と仲良し

日本のことだけでなく、世界中の国や人のことを知るための部屋だよ。いろんな国のことでもっと知りたいことを聞いてもいいし、反対に知っていることはみんなにも教えてあげよう。

であいゾーン

わいわい！ぺちゃくちゃ！
友だちどうして楽しく
会話できる部屋(図10)が
たくさんあるよ。

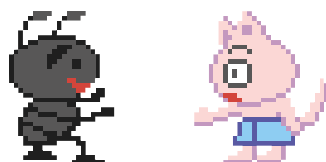


図10

自己紹介

タイトル(だいめいのことだよ)に自分の名前を入れて自己紹介してみよう。自己紹介の部屋にメールを出すほうほうはあとでせつめいするね。

学校紹介

ここは子どものひろばにさんかしている学校が、それぞれの学校のことを他の学校の友だちに紹介する部屋だよ。

ゲームとアニメ

みんなが好きなゲームやアニメにかんけいあることだったら何でも書いていいんだよ。今どんなゲームがはやっているんだろう？

つくってコーナー

こんな部屋をつくってほしい！こんなことをみんなと話し合いたい！なんてきぼうがあったらこの部屋に送ってね。さんせいしてくれる友だちが集まれば、新しい部屋ができるかもしれないよ。

みんな聞いて！

ここは「みんな聞いてくれ～！」って思ったことを自由に書いていいんだよ。楽しい返事がいっぱいくるかもしれないね。

メールを送ってみよう！

部屋のようにすはだいたいわかったかな？じゃあ、さっそく「であいゾーン」の「自己紹介」の部屋にメールを送ってみよう。

1

「であいゾーン」の中の「自己紹介」の部屋をひらこう。

マウスを使って、やじるしをひらきたい場所にもっていったってクリックするんだったよね。(図11)



図11

2

「新規メッセージ」をひらこう。

「図12」のパレットのようなものの中のやじるしのところをクリックするか、「図13」のようにして「新規メッセージ」をえらんでごらん。「図14」のようなびんせんみたいなものが出てきたかな？



図12



図13



図14

3

タイトルを書こう。

タイトル(題名のことだよ)のところに自分の名前をかいてみよう。(図15)

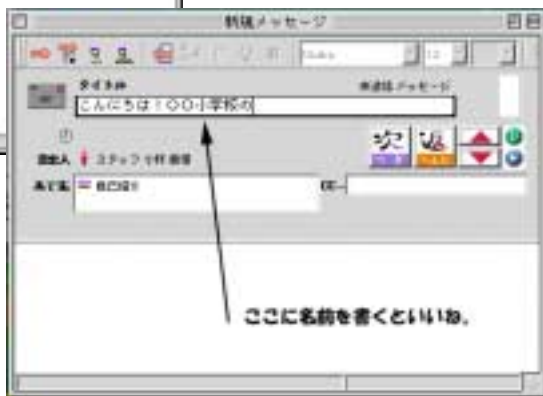


図15

4 本文を書くよ。

びんせんみたいなところにマウスをうごかしてやるしをもっていき、そこでクリックすると「|」印になって文が書けるようになるよ。(図16)さあ、自己紹介をしてみよう。名前や学校名、好きなこと、好きなもの……。ただし自己紹介といってもここでは自分の住所や電話番号は書かないようにしよう。

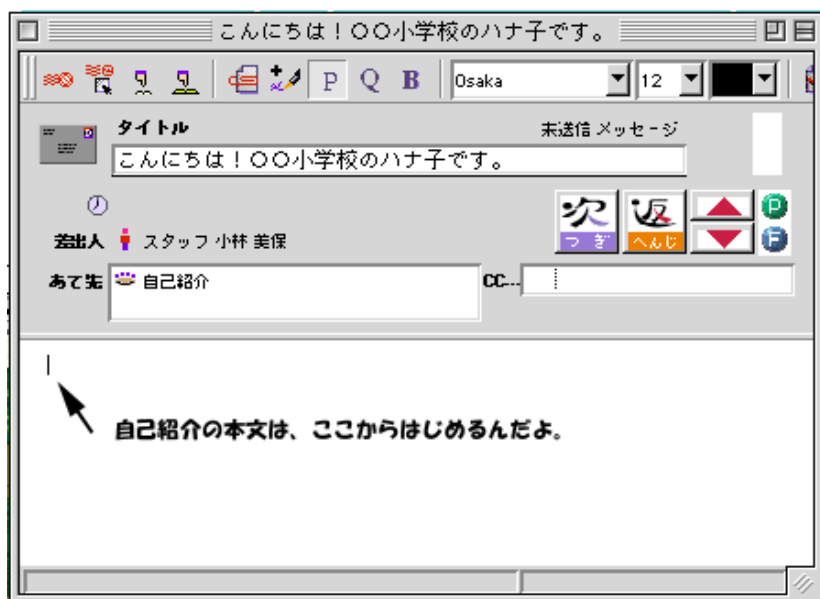


図16

5 いよいよ送信だ。

自己紹介の文が書き終わったら、「図17」のように送信をえらぶか、「図18」のように送信ボタンを押してごらん。「ポロロ〜ン」これで送信かんりょうだ。「自己紹介」の部屋のいちばん上のところに今送ったメールがきているよ。



図17

図18



● 絵をおくってみよう ●

● きまった人にメールを出してみよう ●

今までみんなが見ることができる部屋へのメールの出しかたをせつめいしてきたけれど、「このメールはみんなじゃなくて、さんだけに送りたいな」ってときはどうしたらいいか、つぎにせつめいするね。

1

いちばんさいしょのところに「Mail Box（メールボックスと読むんだ）」というのがあるけど、みつかったかな？そこをクリックするんだ。

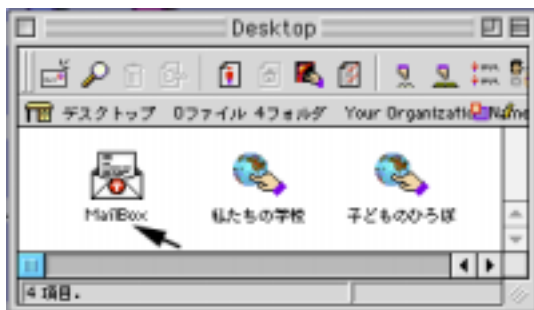
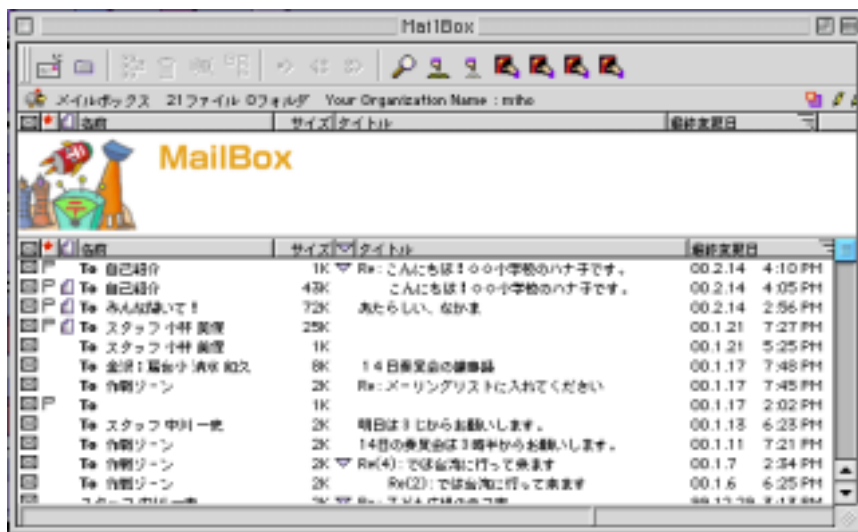


図24

図25



2

つぎに、「新規メッセージ」を開くよ。このやりかたはさっきせつめいしたね。新しいびんせんみたいなものが出てきたかな？



図26

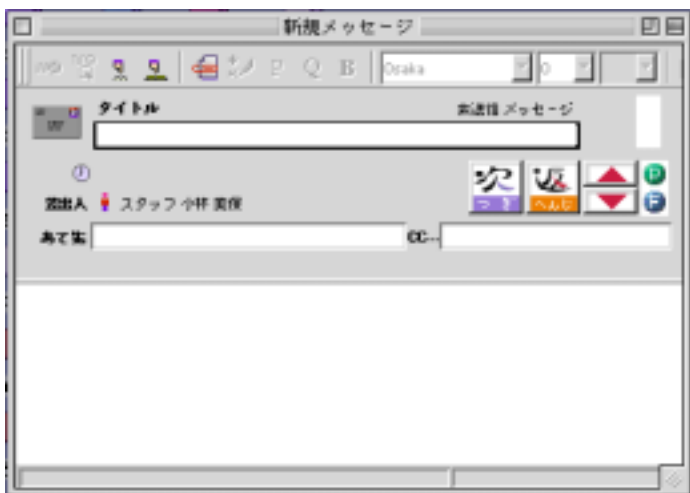


図27

3

「あて先」のところが白くなっていて（図27）何も書いてないね。ここに送りたい人のアドレス（住所のようなもの）を打ちこむんだ。さいしょはちょっとむずかしいかもしれないので、先生といっしょにやってみよう。アドレスを打ちこんだら、最後に「リターンキー」を押すことを忘れないでね。

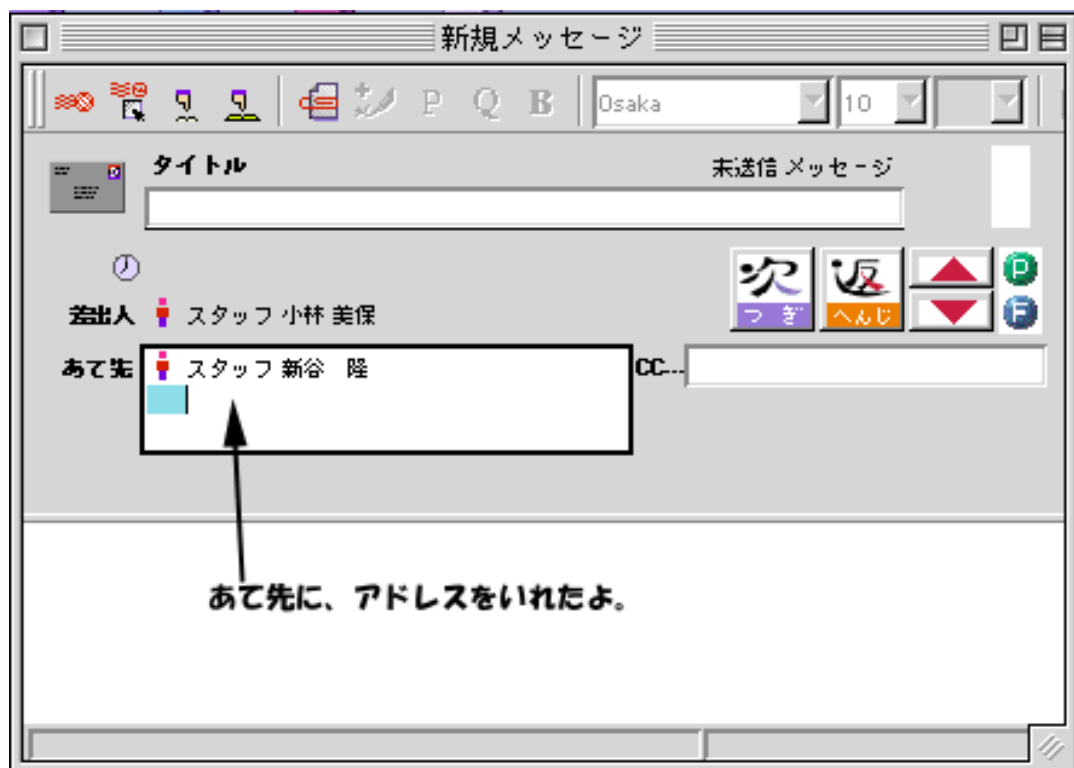


図28

4

きみのところにきたメールは「Mail Box」にきているよ。メールボックスの上に赤い（図29）がついていたら、新しいメールがきてるってことなんだよ

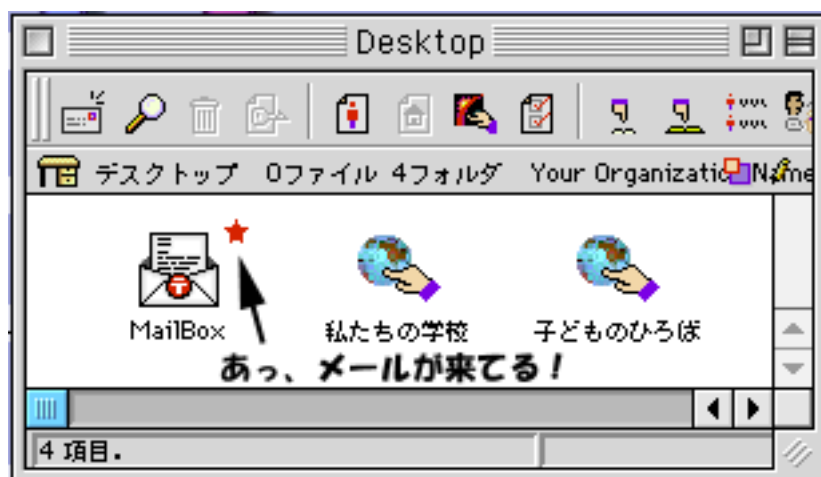


図29



さあ、みんなでかんがえよう！

いろいろな部屋のことがわかったし、メールの出しかたも、絵の送りがたもわかったね。でも、もう1つだいじなことが残っているんだ。

それは「ネチケット」・・・聞いたことあるかな？「ネチケット」というのは、ネット上のエチケットのことなんだ。参加している友だちどうしが、気持ちよく「子どものひろば」でメールのやりとりができるように心がけること、というわかりやすいかな？

自分の学校名や名前をかく

お手紙を書くとき、きちんと住所や名前を書いているよね。書かないとその手紙をもらった人は誰からきた手紙かわからないし、返事もかけない。ネット上のメールも同じことなんだ。自分の書いたメールの最後に学校名や名前をきちんとかくこと。これは自分の発言に責任をもつ、という意味もあるたいせつなことなんだ。メールの最後には忘れずに自分の名前をかこうね！

パソコンのむこうには人がいる

学校で「子どものひろば」でメールを送っても、誰がそのメールを読んでいるかわからないよね。でも、目の前に読む人がいないからといって、人が傷つくような心ないメールを送ったとしたら、そのメールを読んだ人はどう思うだろう？ 傷ついたり、いやな気持ちになるかもしれないね。反対に読む人の気持ちになってメールを書いたら、たくさんの人の人の気持ちを楽しくさせたり、うれしくさせることができるよね。「パソコンの向こう側には友だちがいるんだ」と想像しながらメールを書くということは、そういうことなんだ。

相手も返事をまっている

メールの送りがたがわかってくると、メールを送るのが楽しくなってくるよね。それとどうじに、返事もまちどおしくなってくるよね。そういう気持ちってみんないっしょなんだ。発信（メールを送ること）もだいじだけど、読んだメールに返信（返事を書くこと）もどンドンやってみよう。だんだん、おたがいのことがわかってきて、今まで以上に楽しくなると思うよ。

自分の気持ちは子どもひろばで教えてあげる

さっき心ないメールについて話をしたよね。人を傷つけるようなメールを読んだとき、そんなメールに顔をしかめたり、もんくをいったりしても、ネットの向こうの送った人には伝わらないよね。そんなとき、どうやって相手に自分の気持ちをわかってもらうか？ クラスの友だちや先生といっしょに考えてみてほしいんだ。そして、ネット上で相手に教えてあげることもたいせつなことなんだよ。

メールのどこの文章に返事をかいたのかな？

返事を書くとき、いきなり「はい、わかりました」とだけ書いても、読んだ人には、何についてわかりましたなのか、忘れてしまったり、気がつかないことがあるんだ。そういうときには、相手の文章の関係のあるところをコピーして返事をかくとわかってもらいやすいし、思い出してもらえるよ。返事の手書き方は前にもせつめいしたから、つぎの図30と図31のようにやってみてごらん。

マウスで返事を出したいところをえらんで、

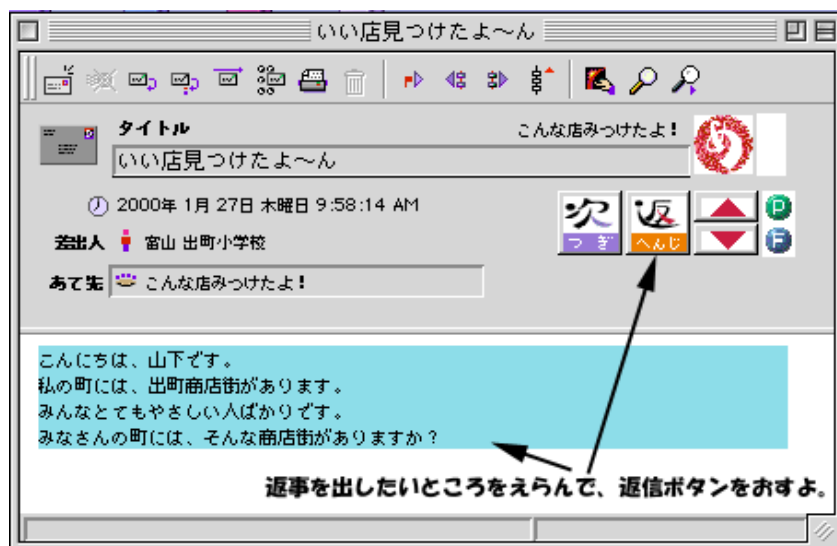
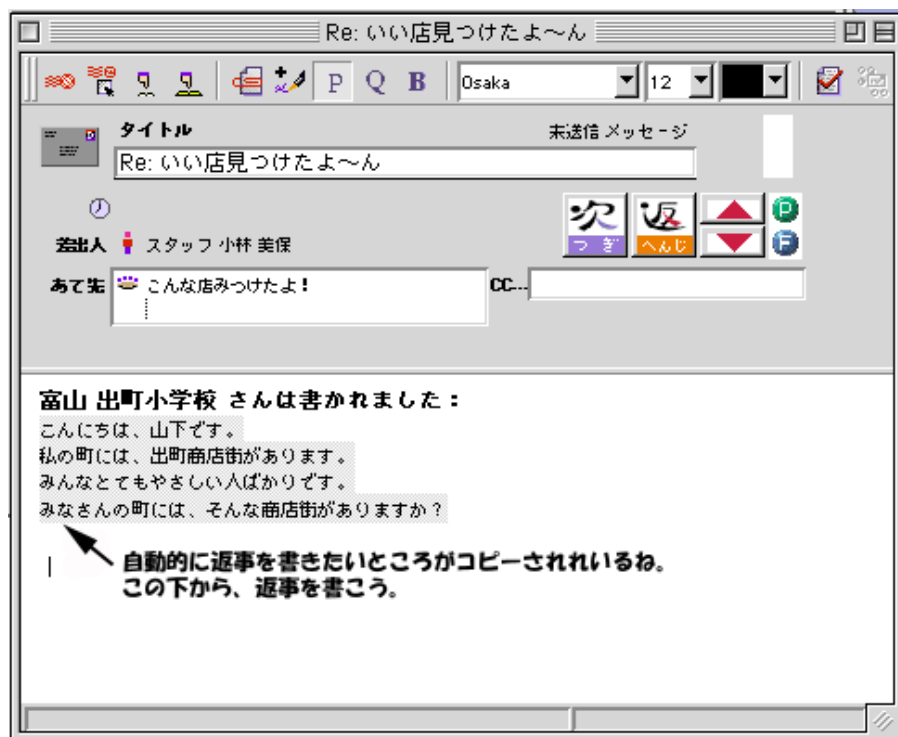


図30



「返信」ボタンをクリックするよ。

図31

自動的に返信メールにあて先と、返事を書きたい場所がコピーされているね。さあ、その下から返事をつづけよう。うまくいったかな？



送っていいものと、送ってはいけないもの

自分でかいた絵や、自分でとった写真を送るはなしは前にしたよね。でも、なかには送れないものもあるんだ。たとえば、学校のパソコンで使うために買ったソフトをそのまま送ることはできないんだ。それから、誰かがとったりかいたりした写真や絵も送ることができないんだよ。送っていいものと、送ってはいけないものを、先生と相談してみようね。

タイトル〔題〕を工夫しよう

返事を何回も書いているうちに、タイトルと関係ないはなしになってしまうことがあるんだ。そんなときは、文に関係のあるタイトルになおした方が、相手に言いたいことがわかってもらいやすくなるよ。書いた話の内容がうまく相手につたわるようなタイトル（題名）を工夫してみてね。

さてさて、いろいろ書いてきましたが、まずは「子どものひろば」に入って自分のためしてみよう。こまったことがあったら、まわりの先生や友だちに相談することもたいせつだよ。子どものひろばの中の友だちや先生に相談してみるのもいいかもしれないね。きっと親切に教えてくれるよ。失敗したってだいじょうぶ。つぎから気をつければいいんだ！

では、子どもひろばの島の探検にしゅっぱ〜つ！



Eスクエア(e2)プロジェクト
子ども用ホームページガイドブック
(児童・生徒用マニュアル)

不許複製 禁無断転載

2000年2月21日 第1版発行

企画・構成

「Eスクエア・プロジェクト」
子供用ホームページ・ワーキンググループ

編集協力

メディアキッズ

編集・制作

(株)学習研究社デジタルコンテンツ編集出版室

図版・レイアウト

甲谷 勝・小林峰子

発行

情報処理振興事業協会

<http://www.edu.ipa.go.jp/>

財団法人コンピュータ教育開発センター

<http://www.edu.ipa.go.jp/E-square/>